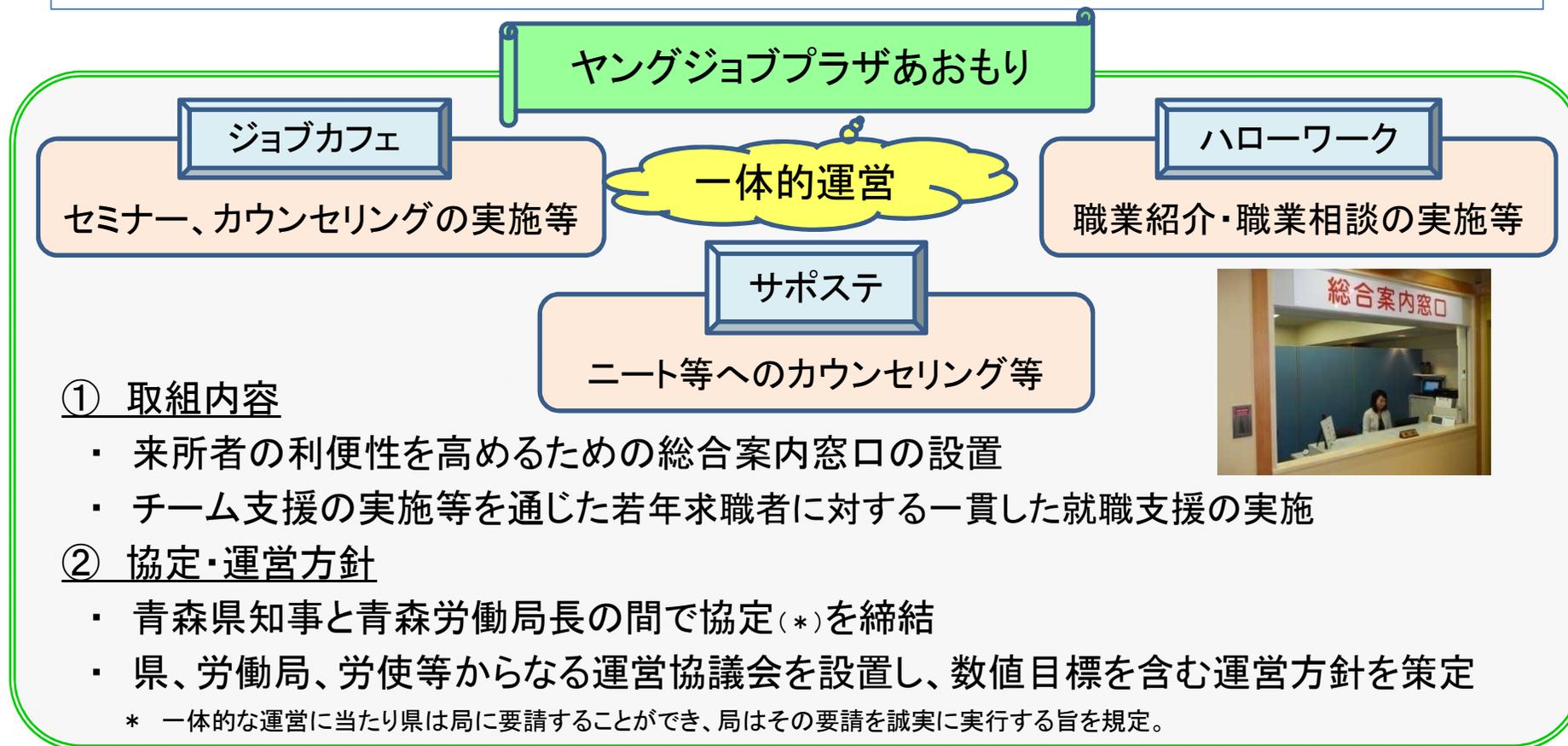


青森県の一体的実施

平成23年11月9日事業開始

「ハローワークヤングプラザ」(国)、「ジョブカフェあおもり」(県)、「青森県若者サポートステーション」(国)の3施設を「ヤングジョブプラザあおもり」として一体的運営を実施し、若年者の就職支援の機能強化を図る。



青森の厳しい雇用情勢に対応するため、都道府県では全国で初めて各施設を一体的に運営し、窓口の一本化、チーム支援の実施等により、学卒者を含めた若年者の就職支援を強化。

(1) 実施体制

ヤングジョブプラザあおもり

ジョブカフェあおもり

所長・次長 2名

情報・職場体験担当

8名

相談・就職支援担当

24名

- | | |
|--------------|------------------|
| ○統括マネージャー 1名 | ○統括コーディネーター 1名 |
| ○企画 2名 | ○カウンセラー 7名 |
| ○業務管理員 5名 | ○サテライトスポット 3名 |
| | ○早期就職サポーター等 10名 |
| | ○定着促進コーディネーター 2名 |
| | ○臨床心理士 1名 |

受付担当 2名

○総合案内窓口 2名

合計36名

あおもりサポステ

- | | |
|-----------------|--------------|
| ○総括コーディネーター 1名 | ○連携推進リーダー 1名 |
| ○キャリアコンサルタント 2名 | ○訪問支援員 1名 |
| ○事務職員 1名 | ○学び直し支援員 1名 |
| | ○臨床心理士 1名 |
| | ○情報管理員 1名 |

合計9名

ハローワークヤングプラザ

統括職業指導官 1名

職業相談・紹介担当

12名

職業訓練担当

4名

- | | |
|-----------------|----------------|
| ○就職促進指導官 1名 | ○就職支援ナビゲーター 3名 |
| ○(再)雇用指導官 1名 | ○職業相談員 1名 |
| ○学卒ジョブサポーター 10名 | |

心理カウンセリング

1名

○臨床心理士 1名

合計18名

求人情報提供端末30台 職業紹介端末14台を配置

(2) 開館時間

「ヤングジョブプラザあおもり」は、平成24年4月2日より、3施設の開館時間を統一し、平日及び土曜日（祝日除く）の8時30分から17時15分までの開館時間となります。

(3) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(26年3月末現在)
新規登録者数	1,600以上(H25.12.20目標数修正)	1,783人
	(参考)24年度目標 2,000人以上	(参考)24年度実績 1,946人
チーム支援者数	新規支援者数:70人 (1月当たり5人~7人程度)	新規支援者数:73人
	(参考)24年度目標 60人以上	(参考)24年度実績 69人
チーム支援者就職率	50.0%	82.2% ※就職者数:60人
	(参考)24年度目標 50.0%	(参考)24年度実績 66.7% 就職者数:46人
受講指示等	150人	148人
	(参考)24年度目標 172人以上	(参考)24年度実績 173人
「就勝(しゅかつ) クラブ」参加者数	100人(10人×10回)	120人
	(参考)24年度目標 100人以上	(参考)24年度実績 111人
高校中退者のチーム支援者数(チーム支援者数70人の内数)	5人	4人

若年者就職支援施設「ヤングジョブプラザあおもり」のオープンについて

青森県知事 三村 申 吾



平成24年4月1日、青森県の3つの若年者就職支援施設を一体的に運営する「ヤングジョブプラザあおもり」が本格オープンいたしました。

東日本大震災や急激な円高の影響等により、厳しい雇用情勢が続く本県においては、ハローワークの全国ネットワークを活かしながら、国と県とが互いに協力して、雇用対策を進めていくことが大変重要であると考えています。

中でも、県外求人的大幅な減少により、特に厳しい状況下におかれている若年求職者の就職支援機能を、より一層強化する必要があるとの思いから、「若年者就職支援施設の一体的運営」について国に提案させていただき、都道府県としては全国で初めてとなる、「ハローワークとの一体的運営」を開始しました。

「ヤングジョブプラザあおもり」では、「ジョブカフェあおもり」、「ハローワークヤングプラザ」及び「青森県若者サポートステーション」を一体的に運営するために、総合案内窓口を設置し、3施設で集中的に就職を支援する「チーム支援」などを新たに実施しています。

一体的運営のメリットを最大限に活かし、本県の未来を担う若者が、一人でも多く就職できるよう、今後とも全力で取り組んでいきたいと考えています。

ジョブカフェとハローワークのチーム支援による 就職成功例

男性:30歳代 希望職種:サービス業(販売・調理等)
直近の状況:非正規労働(アミューズメント接客)

① 抱える課題

- ・本人は、サービス業を希望しているが、給与が高ければ職種は問わない等、漠然とした考え方で職種等を絞り切れていない。
- ・給与以外についての、仕事に対する希望条件や優先順位が明確化されていない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・ジョブカフェにおいて初期に実施した適性診断の結果から、本人に自分の適性を認識してもらうとともに、職業理解を促す。
- ・具体的に希望職種が見えないため、興味がある労働市場についてハローワーク窓口にて説明。
- ・職業選択するに当たり、優先順位を明確にし、調理師資格を活かせる仕事を中心に、応募活動を薦めた。
- ・調理に関する仕事へは、5年ほど就いていなかったが、調理への思い及び仕事への取組姿勢をメインに書類作成・面接対策の支援を行った。

③ 結果

※支援期間 2ヶ月

飲食店調理師として正社員採用

- ・調理師
- ・一日4~8時間 シフト勤務週40時間 月給約15万円

男性:20歳代 希望職種:一般事務・IT関係
直近の状況:卒業後職歴なし

① 抱える課題

- ・在学時から就職活動を行っていないため、職業に関して理解不足があり、また、求人検索等も適切に出来ていない。
- ・人と接するのが苦手と認識しながら、接客業へ応募する等ミスマッチな部分がある。
- ・不採用になった企業から、覇気がない、やる気がなさそうに見える等の指摘もあった。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・ジョブカフェにおけるカウンセリングを通じ、本人が興味を持てるような職種を中心に、その仕事が次の自分にどう繋がるかをよく説明しつつ、何種類かの職種を紹介した。その結果、多少希望に合わなくとも前広に仕事を捉えるようになるなど、まずは就職してみようという意欲が徐々に芽生えてきた。
- ・本人の意識変化に対応し、ハローワークにおいては求人検索の支援に加え、本人の希望も考慮しながらも、積極的に何種類かの求人紹介を行った。
- ・面接対策では、話す内容に加え、表情や話し方に注意を払うよう指導した。

③ 結果

※支援期間 2ヶ月

医療関係会社へ物品管理で正社員採用

- ・物品管理員
- ・一日8時間程度 週5日勤務 月給約11万円